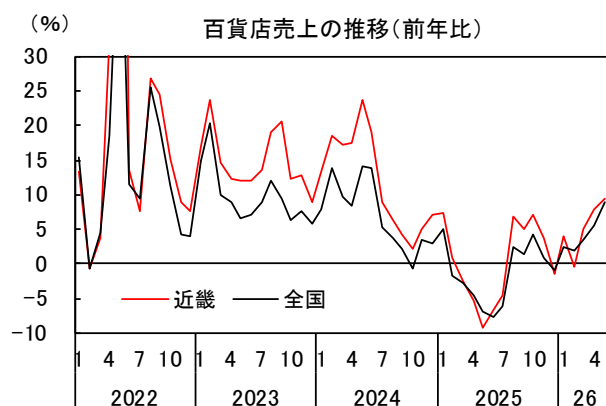
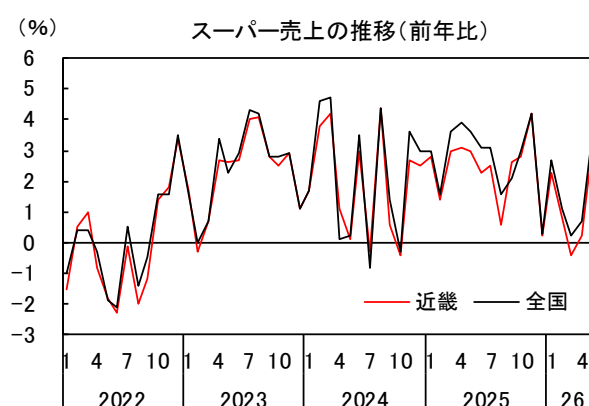


関西の景気トピックス【消費関連（26 年 5 月）】

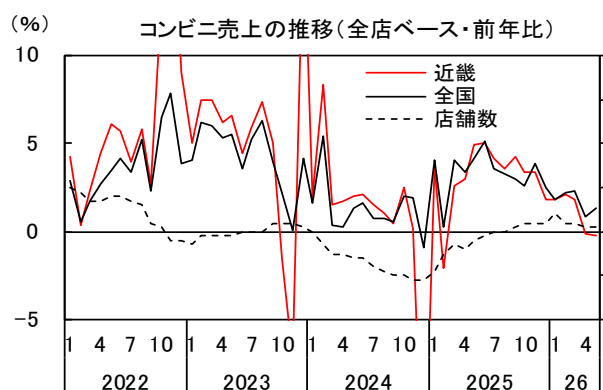
- 26 年 5 月の百貨店売上（経済産業省）は前年比プラス 9.3%と 3 か月連続の増加となった。中国の渡航自粛は続いているものの、中国以外の訪日客は増えているほか、前年が円高の進行等で売上が悪化した反動もあり、好調な動きとなった。一方、スーパー売上の 5 月は前年比プラス 3.2%と、食料品を中心とした値上げの動きを背景に、2 か月連続の増加となっている。
- コンビニ売上（経済産業省）は、5 月は全店ベースで前年比マイナス 0.2%と 2 か月連続の減少となった。前年の売上が万博の開催などで伸びたこともあり、一部でその反動が出たものとみられる。
- 4 月以降、家電の売上が前年を大きく上回っている。エアコンの 2027 年問題により、夏を控えた買換えの動きが大きく増えたことが一因とみられる。
- 各業界の売上には前年を上回る動きもみられるものの、インバウンド消費が力強さを欠く中、一部で鈍い動きもみられる。今後、中東情勢の影響による物価上昇が進むとみられる中、先行きは楽観できない状況となっている。



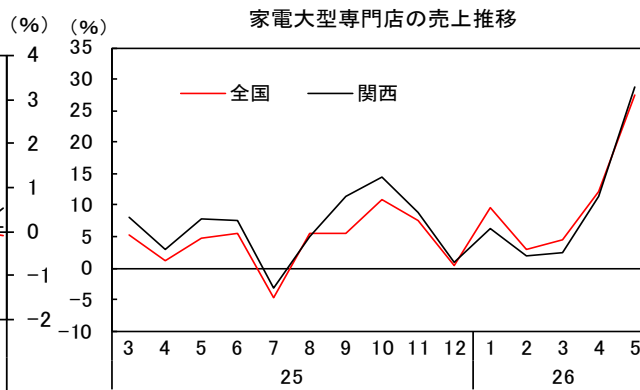
(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省



(出所)経済産業省「商業動態統計」